事例No.	2100
公表年度	R4
団体の属性	中核市
団体名	高知県高知市

事例区分	DX

タグ	・観光 ・AI ・ICT

事例種類	観光

事例内容・タイトル

多言語観光案内システム「tosatrip」によるインバウンド観光促進

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

120 多言語観光案内システム「tosatrip」によるインバウンド観光促進【高知県高知市】

事業の概要

○　高知市が管理・運営を行う観光案内システム「tosatrip」は、人工知能（AI）を活用したチャット型の自動応答機能によって、観光客が所持するスマートフォンなどの端末上において、高知県内全域の観光スポットや飲食店などの情報を、多言語でタイムリーに入手することができるシステム。

○　Googleマップとの連携により、目的地までの移動手段や経路なども発信できるようになっている。

○　日本語、英語、中国語の簡体字・繁体字と韓国語に対応しており、AIによる対応が困難な場合は、オペレーターによる有人チャットに切り替えることができる。



○　システムを利用する際に専用アプリのダウンロードは必要なく、QRコードの読み取り、またはURLから入ると、「LINE」「Messenger」「Wechat」「Web」の４つから利用方法を選択できる。

【参考情報】　人口：32.6万人
関連URL：https://bot.talkappi.com/bot?id=kouchi-20

もっと知りたい！　担当者にインタビュー


（総務省）

取組の経緯・きっかけを教えてください。


（高知市）

高知県内34市町村で構成する「れんけいこうち広域都市圏」の取組のひとつとして、外国人観光客の利便性や満足度を高め、県内全域の周遊促進及び消費喚起を図ることを目的として開始したものです。
高知県内には外国語対応可能な観光案内所が少なく、外国人観光客が持っているスマートフォンなどから県内の観光情報が簡単に入手できる仕組みを作ることで、多様化するニーズへの対応と県内の周遊促進につながると考えました。



事業の近況を教えてください。



令和3年度のシステム利用者数は，5,200人であり、そのうち外国人利用者数は136人でした。
コロナの影響による外国人観光客の激減に伴、外国人の利用実績は低調となっています。

★担当：高知市商工観光部 観光魅力創造課★

令和3年度事業費　7,921千円